

| パンフレット番号 | 問合せ先        | 電話番号         |
|----------|-------------|--------------|
| 20607-66 | 株式会社クイックパック | 0564-59-3525 |

## めんば

menpa

木の板を曲げて作った弁当箱の多くが曲げわっぱと呼ばれていますが、宮崎県北部に位置する諸塚村では『めんば』と呼ばれ主に林業従事者に愛用されてきました。この『めんば』は接着剤や金属の釘等は一切使用されておらず樺桜の皮と竹串で固定され、漆や塗料も不使用で自然素材のみで作られています。材料を採取する諸塚村の森林は、適切な森林管理が行われてる事を認証するFM認証を取得しており、村内で生産される木材のほとんどはFSC®森林認証材で、環境共存型の森林経営を実現しています。



## 籃胎漆器

rantai-shikki

明治初期、久留米藩の塗師と籠細工師の技術により生み出されました。

薄い竹ひごを編んで作った竹細工に漆を塗り、さらに磨いて塗り固めたもので、竹細工の持つ粋と漆のもつ堅牢、優雅さを合わせ持つ伝統工芸品です。また非常に長持ちすると知られています。



## 薩摩切子

satsumakiriko

薩摩藩で幕末から明治初頭にかけて生産されたガラス細工・カットグラス（切子）です。薩摩切子は江戸切子より細かい細工や色被せと呼ばれる表面に着色ガラス層をつけた生地を用います。特に色の層の厚さ、大胆な切子面、そしてその色のグラデーションは、色被せ薩摩の特徴で「ぼかし」と呼ばれ、人気を呼んでいます。現在では、現存する古い薩摩切子を忠実に再現した復元・復刻物、新たなデザインや色の製品や創作品も作られています。



## 琉球ガラス

Ryukyugarasu

琉球ガラスとは、沖縄本島を中心に作られているガラス工芸品。その歴史は、明治時代中期が始まりとされています。しかし琉球ガラスが沖縄県の伝統工芸品に認定されたのは、平成10年と意外にも最近のことです。

同じ製造方法でも、職人の技術や使用する原材料によって異なる味が出る琉球ガラス。製品を通じて、職人の真心や温もりを感じられるのも琉球ガラスの魅力です。一つひとつ手作りされるため、同じものは一つとして存在しません。



| 新企画        |
|------------|
| 竹製品        |
| 弁当 / 飯器    |
| 酒器         |
| 寿司 / 箱 / 鍋 |
| 木製品        |
| 陶磁器 / ガラス  |
| 金属         |
| 紙製品        |
| 演出         |
| 調理道具       |
| 串 / 包装用品   |
| 茶器         |
| お盆 / トレー   |
| 卓上用品       |
| 箸          |
| カトラリー      |
| 各種パーツ      |
| ペーカリー      |
| 什器 / 備品    |
| ライフスタイル    |
| artwork    |
| 伝統工芸       |
| スポーツ       |
| 上質日常品      |
| 素材         |
| ロケーション     |